



現状把握：紫蘇の用途・出荷先

- 青果、加工食品、加工用原材料は、一般消費から食品,酒造,香料,医薬品などへと活用の幅は広い。

生產品目	用途	製品	出荷先	輸出
紫蘇 (青紫蘇・赤紫蘇)	青果	大葉10枚入り小袋 大葉100枚パック 	スーパーマーケット 小売店 食品問屋など	輸出実績あり ・イギリス ・香港
		業務用 	食品加工メーカー 原料製造メーカー 食品問屋など	—
	加工食品	紫蘇ドリンク 紫蘇茶 紫蘇めん類 	スーパーマーケット 小売店・物産館 ネットショップ 飲食業店 食品問屋など	輸出実績あり ・シンガポール
	加工用原料	紫蘇エキス 紫蘇粉末・チップ 紫蘇ペースト 紫蘇オイル 	食品加工メーカー 酒造メーカー 香料メーカー 医薬品メーカーなど	輸出商談中

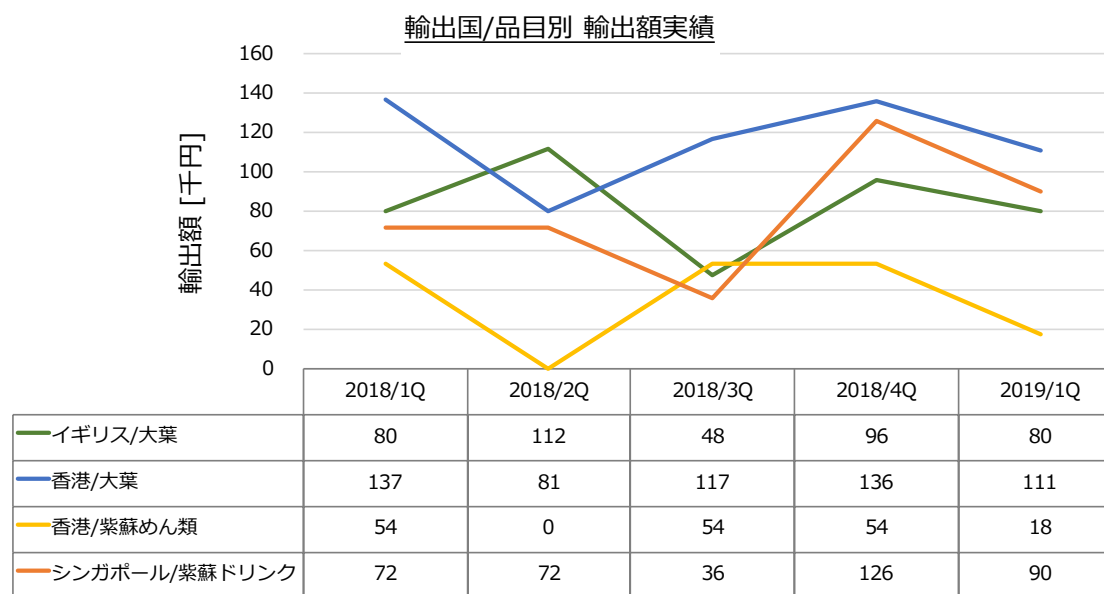


現状把握：輸出実績

● 輸出の実績

- 輸出する加工食品およびその原材料は、当該組合の各社にて生産・製造を行っている。輸出品目・輸出先・実績(輸出額)は以下の通りである。
- 輸血量・額は季節に応じた変動はあるものの、ここ数年安定しており、輸出先での商品の定番化ができています。
- すでに商談中のEUやミャンマー、また商談会などで今後あらたに販路拡大していくことが見込まれる。

	輸出品目	輸出先国	実績額 (2018年)
青果	青紫蘇(生大葉)	香港、イギリス	807千円
加工食品	紫蘇ドリンク	シンガポール	306千円
	紫蘇そば	香港	161千円
	紫蘇めん類	イギリス、ミャンマー	(商談中)
加工用素材	紫蘇エキス	イギリス、フランス	(商談中)
	紫蘇チップ	イギリス	(商談中)





取組の背景と課題

● 既存顧客の維持・拡大、新規顧客への対応

- 現在、イギリス・香港・シンガポールの手スーパーマーケットなどに生大葉や紫蘇ドリンクなどの輸出を行っており、好評を得ている。また、これまでの市場調査や商談会で紫蘇商品の引き合いがあり、サンプル送付や価格見積りを実施している。

● オーガニック(有機)商品への移行、品質保証

- 既存輸出先を含めた諸外国からはオーガニック(有機認証)商品やHACCP対応商品が求められているが、HACCP対応・有機認証を取得していない原材料および加工食品があり、今後の販路開拓・販路拡大に支障がでている。なお、既存商品も現在は生産情報公表JAS認証の紫蘇を使っており、有機加工食品としては出荷しておらず、既存商品の輸出終了になりかねない。

● 輸出国の規制への対応

- 輸出先によって栄養成分の一括表示に追加記載が必要であったり、使用不可の原材料、特に色素の制約や包材の制限があり、有機加工食品の基準の中で使用できる原材料に切り替える必要がある。これに伴い、商品開発でラベルの刷新や栄養成分の分析、使用包材の変更が必要となっている。



取組の背景と課題

ターゲット国	マーケット特性・ニーズ	対象品目	課題	取り組み
イギリス 	ターゲット層：富裕層・現地日本人 紫蘇は輸出実績があり、日本食の一端として認識されている。オーガニック品のニーズは高い。有機紫蘇への移行により、健康志向派層、ベジタリアンなどへの展開を期待できる。	青果 ・有機青紫蘇	・輸出国に対応した残留農薬、放射能検査など求められている。 ・HACCP、BRCまたはGFSI承認規格の認証が必要である。	・輸出国対応の成分分析や残留農薬検査など ・HACCP認証取得
	ターゲット層：富裕層・アッパーミドル層 健康志向が強く、オーガニック、自然の原料のみ(添加物を含まない)の製品、ベジタリアン対応などのこだわりあり。食品安全管理(HACCP等)準拠も必要とされている。	加工食品 ・有機紫蘇めん類	・添加物(着色料)の制約あり、既存のめん用原料では対応できない。また自然の色合いを求められている。 ・HACCP、BRCまたはGFSI承認規格の認証が必要である。	・原材料の検討 ・新商品の試作、成分分析、パッケージ作成 ・有機JAS認証取得 ・テスト輸送、販売 ・HACCP認証取得
	ターゲット層：食品加工メーカー オーガニックのドレッシングやドリンクの開発検討が進められており、紫蘇の機能的成分を活かした健康食品が求められている。オーガニック、また食品安全管理(HACCP等)準拠を必須条件としている。	加工用原料 ・有機紫蘇エキスを ・有機紫蘇チップ	・有機認証は取得済みだが、輸出国に対応した成分分析などが必要である。 ・HACCP、BRCまたはGFSI承認規格の認証が必要である。 ・新規の商流を確定させる必要がある。	・成分分析 ・HACCP認証取得 ・テスト輸送
香港 	ターゲット層：富裕層・現地日本人 紫蘇は輸出実績があり、日本食の一端として認識されている。高品質・安全・安心を理由に日本産、オーガニック野菜のニーズが高まっている。	青果 ・有機青紫蘇	・輸出国に対応した残留農薬、放射能検査など求められている。	・輸出国対応の成分分析、残留農薬検査など
	ターゲット層：富裕層・アッパーミドル層 紫蘇そばは輸出実績があり、定期的な出荷もあり安定したニーズがある。同様に高品質・安全・安心な日本産・オーガニックへのニーズが高まっている。	加工用食品 ・有機紫蘇めん類	・有機の新商品で、輸出国に対応した成分分析などが必要である。	・新商品の試作、成分分析、パッケージ作成 ・有機JAS認証取得 ・テスト販売
シンガポール 	ターゲット層：富裕層・アッパーミドル層 健康志向が強く、機能的成分を含む紫蘇ドリンクは好評である。オーガニックへのニーズもあり、有機紫蘇ドリンクへの移行でさらなる販路拡大を期待できる。	加工用食品 ・有機紫蘇ドリンク	・有機認証は取得済みだが、輸出国に対応した成分分析などが必要である。	・新商品の成分分析、パッケージ作成 ・テスト販売
ミャンマー 	ターゲット層：富裕層・アッパーミドル層 米粉の麺類が主流だが、日本流に小麦粉を使ったオーガニック麺類のニーズあり。ジャパンブランドの開拓・拡大の余地はあり、いち早く対応することで販路が期待できる。	加工用食品 ・有機紫蘇めん類	・有機の新商品で、輸出国に対応した成分分析などが必要である。 ・新規の商流を確定させる必要がある。	・新商品の試作、成分分析、パッケージ作成 ・有機JAS認証取得 ・テスト輸送、販売
その他 	ターゲット層：食品加工メーカー、原材料卸業者 健康志向の飲食品を製造するメーカーから、紫蘇の加工用原料への問合せが増加している。米国のドリンクメーカーや(国内だが)医薬品メーカーへ試作用のサンプルを提供している。	加工用原料 ・有機紫蘇粉末、エキスを	・加工用原料は有機認証を取得済みであるが、製造メーカーの要望に合わせた調整が必要である。合わせて成分分析などが必要である。	・商品の調整、成分分析 ・テスト輸送